

研 修 報 告 書

報告書作成日：令和 6 年 6 月 17 日

所 属 ・ 部 署	氏 名	研 修 実 施 期 間
ナギノテ	荻原 雪路 利用：田中大輝さん、柳沢有輝さん	令和 6 年 6 月 17 日 9：30～11：00
研修実施機関名	研 修 名	研修実施場所
アグリサポート委員会	ぶどう摘房・摘粒講習会	柳沢龍也様 ぶどう園

研修内容	・ぶどう摘房・摘粒講習会 JA 信州うえだ指導員の方から 配布資料に基づき説明を受け実習。実習をしながら適時助言をしていただく 1. 摘房（房落とし） 摘房は速いほど良いので結実が確認出来たら早めに行う 2. 摘粒 一房 40 粒以上にしない35粒前後、軸長調整8～9センチ   
感 想 (学び・気づき)	摘粒は、房の付きかによりバランスを見ながら整えていくのは、難しく感じました。 参加した利用者さんは指導員さんにもたくさん話しかけ、1 つずつ終わるごとに『これでいいですか？』と確認していました。意欲的に参加されている姿を見て、周りのアグリサポートの役員さんからもお褒めの言葉を頂きました。新しいことを知ることにより農業に興味を持って仕事をする事ができるのではと感じました。
次回の日時・課題 その他	アグリサポート運営事務局を通して新たな農園、農家様との作業委託の開拓に繋げられると良いと感じました。今後も情報提供の依頼をお願いする。
特 記 事 項 ・ 連 絡 事 項	

代表取締役	管理者／ サビ管	本人印
		